

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔米国基準〕（連結）

平成25年10月29日

上場会社名 オムロン株式会社
 コード番号 6645
 代表者 役職名 代表取締役社長
 氏名 山田 義仁
 問合せ先責任者 役職名 執行役員 グローバル理財本部長
 氏名 大上 高 充

上場取引所 東証 市場第一部
 URL <http://www.omron.co.jp/>

TEL (075)344-7070

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 平成25年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無

四半期決算説明会開催の有無 : 有・無 (投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	359,726	18.2	30,786	71.1	30,033	74.4	21,174	72.6
25年3月期第2四半期	304,216	0.3	17,991	△20.8	17,220	△18.3	12,271	△5.6

(注) 四半期包括利益 26年3月期第2四半期 34,628百万円 (- %) 25年3月期第2四半期 194百万円 (- %)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年3月期第2四半期	96	19	-	-
25年3月期第2四半期	55	74	55	74

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計 (純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	601,474	397,871	395,885	65.8
25年3月期	573,637	368,763	366,962	64.0

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計			
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭		
25年3月期	-	-	14	00	-	-	23	00	37	00
26年3月期	-	-	25	00	-	-	-	-	-	-
26年3月期(予想)	-	-	-	-	-	-	25	00	50	00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

(注2) 25年3月期期末配当金の内訳 普通配当18円00銭 記念配当5円00銭

(注3) 詳細は、本日(平成25年10月29日)公表いたしました「剰余金の配当(中間配当)および期末配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	750,000	15.3	65,000	43.4	62,000	50.4	43,000	42.4	195	34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

連結業績予想の修正については、本日(平成25年10月29日)公表いたしました「平成26年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有・無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用： 有・無

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有・無
② ①以外の会計方針の変更： 有・無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	227,121,372株	25年3月期	227,121,372株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	6,998,634株	25年3月期	6,992,907株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	220,125,401株	25年3月期2Q	220,129,657株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える重要な要因には、(a) 当社グループの事業領域を取り巻く日本および海外の経済情勢、(b) 当社グループ製品・サービスに対する需要動向、(c) 新技術開発・新商品開発における当社グループの能力、(d) 資金調達環境の大幅な変動、(e) 他社との提携・協力関係、(f) 為替・株式市場の動向、(g) 事故・震災などがあります。

なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P. 6「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

2. 当社は、米国会計基準に基づき連結損益計算書の表示形式としてシングルステップ方式（段階利益を表示しない方式）を採用していますが、他社との比較可能性を高めるため、当決算短信の「営業利益」は、「売上総利益」から「販売費及び一般管理費」、「試験研究開発費」を控除したものを表示しています。

3. 当社は、平成25年10月29日（火）に投資家向け説明会を開催する予定です。

その模様および説明内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(注) 事業の種類別セグメントの名称を次のとおり略して記載しています。

I A B : インダストリアルオートメーションビジネス（制御機器事業）

E M C : エレクトロニック&メカニカルコンポーネントビジネス（電子部品事業）

A E C : オートモーティブ・エレクトロニックコンポーネントビジネス（車載事業）

S S B : ソーシャルシステムズ・ソリューション&サービス・ビジネス（社会システム事業）

H C B : ヘルスケアビジネス（ヘルスケア事業）

その他： 環境事業推進本部、電子機器事業本部、マイクロデバイス事業推進本部、オムロンレジジョンテクノロジー(株)など

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 6
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 6
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 6
(3) 会計方針の変更	P. 6
3. 四半期連結財務諸表	P. 7
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括損益計算書	P. 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 12
(セグメント情報等)	P. 12
4. 補足情報	P. 14
(1) 連結業績概要	P. 14
(2) 連結セグメント別売上高実績	P. 15
(3) 連結セグメント別営業利益実績	P. 15
(4) 期中平均レート実績	P. 15
(5) 連結セグメント別売上高予想	P. 16
(6) 連結セグメント別営業利益予想	P. 16
(7) 期中平均レート予想	P. 16

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

○ 全般的概況

当第 2 四半期連結累計期間（平成 25 年 4 月～9 月）における当社グループの業績は、前年同期と比較すると大幅な増収増益となり、全事業セグメントで増収増益となりました。

当第 2 四半期連結累計期間の経済環境認識は以下のとおりです。

<各地域の経済・市場概況>

日本： 政府の経済政策などにより緩やかな回復傾向

米国： 債務上限問題の懸念は残るものの、住宅市場の底入れなどにより回復傾向

欧州： 企業や消費者の景況感は改善し、回復の兆しが見られる

中国： 製造業指数の改善など一部には回復の兆しが見られるが、本格回復には至らず

アジア： 成長率の低下など不透明感もあるが、新興国での底堅い個人消費は継続している

<当社グループの主な関連市場の状況>

自動車関連： 国内の設備投資需要は回復傾向、部品需要は新興国などで好調

半導体関連： スマートフォンなどの需要により、一部には回復傾向が見られる

工作機械関連： 海外の設備投資需要に回復の兆しが見られる

家電・電子部品関連： 設備投資需要は回復傾向、部品需要は海外で好調

健康機器関連： 新興国での健康意識の高まりなどで需要は堅調

また、当社グループは当期の年度方針を「Complete the GLOBE Stage!、[成長力]×[収益力]×[変化対応力]を備えた『強い企業』への変革を成し遂げる」とし、実行プランとして「IA 事業の最強化」、「新興国での成長」、「最適化新規事業の拡大」、「収益構造改革の完遂」、「グローバル人材の強化」などを重点的に実行しております。当第 2 四半期連結累計期間におきましても、中長期の売上高・利益拡大に向けた施策を実行し、前年同期と比べ、新興国での売上高の増加など、着実に成果をあげつつあります。

当第 2 四半期連結累計期間の業績結果は以下のとおりです。

	平成 25 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	平成 26 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	増減率
売 上 高	3,042 億 16 百万円	3,597 億 26 百万円	+18.2%
営 業 利 益	179 億 91 百万円	307 億 86 百万円	+71.1%
税引前四半期純利益	172 億 20 百万円	300 億 33 百万円	+74.4%
当社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	122 億 71 百万円	211 億 74 百万円	+72.6%
米ドル平均レート	79.4 円	98.2 円	+18.8 円
ユーロ平均レート	101.1 円	128.9 円	+27.8 円

○ セグメント別の状況

I A B (制御機器事業)

		平成 25 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	平成 26 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	586 億 77 百万円	559 億 44 百万円	△4.7%
	海外	712 億 16 百万円	820 億 74 百万円	+15.2%
	合計	1,298 億 93 百万円	1,380 億 18 百万円	+6.3%
営業利益		155 億 72 百万円	178 億 34 百万円	+14.5%

(注) 経営管理区分の見直しにより、平成 26 年 3 月期より、「EMC」傘下の一部を「I A B」の事業セグメントに含め開示しています。これに伴い、平成 25 年 3 月期の営業利益を新管理区分に組替えて表示しています。

<国内売上高の状況>

電子部品・半導体関連業界や自動車・工作機械関連業界の一部における設備投資需要は回復基調にあるものの本格的な回復には至らず、当第 2 四半期連結累計期間における国内売上高は、前年同期比で減少しました。

<海外売上高の状況>

欧州では経済の持ち直しの兆しはありますが需要は前年同期並みとなりました。中国は輸出関連の弱含みなどにより需要は低調に推移しました。米州では石油事業の需要が落ち込みました。アジアは、ASEAN 諸国で自動車・電子部品関連業界を中心とした投資減少により需要は低調に推移しましたが、新興国・韓国で設備投資需要は底堅く推移しました。それらの結果、当第 2 四半期連結累計期間における海外売上高は、円安の影響もあり、前年同期比で増加しました。

<営業利益の状況>

売上高の増加や為替の円安の影響により、将来の成長投資の実行による固定費の増加はあるものの営業利益は前年同期比で増加しました。

EMC (電子部品事業)

		平成 25 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	平成 26 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	133 億 75 百万円	142 億 76 百万円	+6.7%
	海外	292 億 30 百万円	345 億 6 百万円	+18.0%
	合計	426 億 5 百万円	487 億 82 百万円	+14.5%
営業利益		23 億 46 百万円	39 億 35 百万円	+67.7%

(注) 経営管理区分の見直しにより、平成 26 年 3 月期より、「EMC」傘下の一部を「I A B」の事業セグメントに含め開示しています。これに伴い、平成 25 年 3 月期の営業利益を新管理区分に組替えて表示しています。

<国内売上高の状況>

民生業界および自動車関連業界での需要は減少するものの、国内景気の回復に加え、猛暑の影響により、家電向けの販売が好調に推移しました。その結果、当第 2 四半期連結累計期間における国内売上高は前年同期比で増加しました。

<海外売上高の状況>

中国や韓国ではモバイル業界向けの販売が堅調に推移し、米州では業務民生業界向けの販売が好調に推移しました。欧州は業務民生業界が市場の回復を受け需要が拡大しました。それらの結果、当第 2 四半期連結累計期間における海外売上高は、円安の影響もあり、前年同期比で大きく増加しました。

<営業利益の状況>

売上高の増加や為替の円安の影響に加え、原価低減活動の効果により、営業利益は前年同期比で大きく増加しました。

A E C (車載事業)

		平成 25 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	平成 26 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	158 億 73 百万円	131 億 98 百万円	△16.9%
	海外	313 億 84 百万円	462 億 70 百万円	+47.4%
	合計	472 億 57 百万円	594 億 68 百万円	+25.8%
営業利益		27 億 80 百万円	43 億 48 百万円	+56.4%

<国内売上高の状況>

政府による経済対策の効果やエコカー減税の継続があるものの、前年9月の補助金終了影響により自動車需要は前年割れとなりました。その結果、当第2四半期連結累計期間における国内売上高は前年同期比で減少しました。

<海外売上高の状況>

金融不安による欧州経済の緊縮財政や雇用環境悪化により欧州自動車市場は低迷しましたが、北米・中国・アジア市場は好調に推移しました。その結果、当第2四半期連結累計期間における海外売上高は、為替の円安の影響もあり、前年同期比で大きく増加しました。

<営業利益の状況>

売上高の増加や為替の円安の影響などにより、営業利益は前年同期比で大きく増加しました。

S S B (社会システム事業)

		平成 25 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	平成 26 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高		234 億 71 百万円	291 億 12 百万円	+24.0%
営業利益 (△損失)		△18 億 81 百万円	△17 億 62 百万円	—

<駅務システム事業の売上高の状況>

鉄道事業各社の駅務機器への設備投資更新に対する需要は引き続き堅調に推移しており、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比で増加しました。

<交通管理・道路管理システム事業、他の売上高の状況>

交通管理・道路管理システム事業は、交通安全対策としての補正予算による施設老朽化対策需要などがありますが、前年同期比では一時的な売上時期の違いなどが影響し、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比で減少しました。環境ソリューション事業は、住宅用・非住宅用の太陽光発電関連商品の堅調な需要により、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比で大きく増加しました。

<営業利益の状況>

売上高の増加により営業利益は前年同期比で損失額が減少しました。

HCB (ヘルスケア事業)

		平成 25 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	平成 26 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	140 億 14 百万円	146 億 10 百万円	+4.3%
	海外	185 億 43 百万円	282 億 28 百万円	+52.2%
	合計	325 億 57 百万円	428 億 38 百万円	+31.6%
営業利益		19 億 17 百万円	43 億 92 百万円	+129.1%

<国内売上高の状況>

家庭向け健康機器は市場が前年割れしているものの、新商品（体重体組成計、ねむり時間計）の販売が好調に推移するとともに、主力商品である血圧計も極めて好調に推移しました。また、医療機関向け機器は前年同期並みに推移しました。それらの結果、当第 2 四半期連結累計期間における国内売上高は、前年同期比で増加しました。

<海外売上高の状況>

ロシア・中国・中南米・インドなどの新興国における健康機器商品への需要増加が継続し、総じて好調に推移しました。その結果、当第 2 四半期連結累計期間における海外売上高は、円安の影響もあり前年同期比で大きく増加しました。

<営業利益の状況>

海外の売上高の増加や為替の円安の影響などにより、営業利益は前年同期比で大きく増加しました。

その他事業

		平成 25 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	平成 26 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高		254 億 57 百万円	384 億 60 百万円	+51.1%
営業利益（△損失）		△6 億 48 百万円	57 億 78 百万円	—

その他のセグメントでは、新規事業の探索・育成と、社内カンパニーに属さない事業の育成・強化を本社直轄事業として担当しています。

<環境事業の売上高の状況>

再生エネルギー利用への関心の高まりによる太陽光発電の普及に伴い、国内市場におけるソーラーパワーコンディショナの需要が拡大し、当第 2 四半期連結累計期間の売上高は前年同期比で大きく増加しました。

<電子機器事業の売上高の状況>

無停電電源装置の需要は堅調に推移するも、電子機器の開発・生産受託サービス販売（EMS）での需要減などにより、当第 2 四半期連結累計期間の売上高は前年同期比で減少しました。

<マイクロデバイス事業の売上高の状況>

MEMS マイクロフォンチップの需要が拡大し、当第 2 四半期連結累計期間の売上高は前年同期比で大きく増加しました。

<バックライト事業の売上高の状況>

スマートフォン市場の好調な推移やタブレット分野への参入により、当第 2 四半期連結累計期間の売上高は前年同期比で大きく増加しました。

<営業利益の状況>

各事業の売上高の増加により、営業利益は前年同期比で大きく増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第 2 四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末に比べ、現金及び現金同等物の増加などにより 278 億 37 百万円増加して、6,014 億 74 百万円となりました。また、負債の部は短期債務などの減少により、前連結会計年度末に比べ 12 億 71 百万円減少して、2,036 億 3 百万円となりました。純資産の部は為替換算調整額等の変動により、前連結会計年度末に比べ 291 億 8 百万円増加し、3,978 億 71 百万円となりました。株主資本比率は前連結会計年度末の 64.0%から 65.8%となりました。

当第 2 四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況については、営業活動によるキャッシュ・フローは、非支配持分控除前四半期純利益の計上に加え売上債権の回収により、337 億 61 百万円の収入（前年同期比 67 億 61 百万円の収入増）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、生産設備等への投資実行などにより、129 億 25 百万円の支出（前年同期比 9 億 75 百万円の支出減）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済や配当金の支払いにより、107 億 64 百万円の支出（前年同期比 33 億 95 百万円の支出増）となりました。以上より、現金及び現金同等物の当第 2 四半期連結会計期間末残高は前連結会計年度末に比べ 112 億 34 百万円増加し、669 億 42 百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第 2 四半期連結累計期間の連結業績は、各事業とも好調に推移しました。また、第 3 四半期以降も引き続き景気の回復や為替の円安などが継続し、売上高、利益ともに好調に推移すると予想しております。そのため、通期の業績予想につきましては平成 25 年 4 月 25 日発表の数値からつぎのとおり修正いたします。なお、第 3 四半期以降の業績予想の前提としております為替レートは、1 米ドル 95 円、1 ユーロ 130 円です。

業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により異なる可能性があります。

<通期業績予想の修正>

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	税引前 当期純利益	当社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当社株主に帰属 する当期純利益
前回発表予想(A)	710,000	58,000	56,500	40,000	181円71銭
今回修正予想(B)	750,000	65,000	62,000	43,000	195円34銭
増減額(B-A)	+40,000	+7,000	+5,500	+3,000	—
増減率(%)	+5.6%	+12.1%	+9.7%	+7.5%	—
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	650,461	45,343	41,237	30,203	137円20銭

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成25年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
		%		%
(資 産 の 部)				
流 動 資 産	333,694	58.2	355,115	59.0
現金及び現金同等物	55,708		66,942	
受取手形及び売掛金	158,911		150,230	
貸倒引当金	△ 1,988		△ 2,068	
たな卸資産	91,013		106,229	
繰延税金	17,611		19,770	
その他の流動資産	12,439		14,012	
有 形 固 定 資 産	126,835	22.1	130,076	21.6
土地	26,591		26,495	
建物及び構築物	137,821		139,398	
機械その他	156,186		159,901	
建設仮勘定	6,729		8,701	
減価償却累計額	△ 200,492		△ 204,419	
投 資 そ の 他 の 資 産	113,108	19.7	116,283	19.4
関連会社に対する 投資及び貸付金	17,939		18,573	
投資有価証券	38,193		44,544	
施設借用保証金	6,914		7,017	
繰延税金	30,612		26,308	
その他の資産	19,450		19,841	
資 産 合 計	573,637	100.0	601,474	100.0

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成25年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
		%		%
(負債の部)				
流 動 負 債	145,701	25.4	147,137	24.5
短期債務	5,570		183	
支払手形及び買掛金・未払金	75,592		79,226	
未払費用	32,818		33,780	
未払税金	3,907		5,783	
その他の流動負債	27,814		28,165	
繰延税金	595	0.1	695	0.1
退職給付引当金	56,944	9.9	53,835	9.0
その他の固定負債	1,634	0.3	1,936	0.3
負債の部合計	204,874	35.7	203,603	33.9
(純資産の部)				
株 主 資 本	366,962	64.0	395,885	65.8
資 本 金	64,100	11.2	64,100	10.7
資 本 剰 余 金	99,066	17.3	99,066	16.5
利 益 準 備 金	10,876	1.9	11,103	1.8
その他の剰余金	253,654	44.2	269,099	44.7
その他の包括利益(△損失)累計額	△ 44,349	△ 7.7	△ 31,080	△ 5.2
為替換算調整額	△ 14,224		△ 5,069	
退職年金債務調整額	△ 39,730		△ 39,040	
売却可能有価証券未実現損益	9,580		13,118	
デリバティブ純損益	25		△ 89	
自 己 株 式	△ 16,385	△ 2.9	△ 16,403	△ 2.7
非 支 配 持 分	1,801	0.3	1,986	0.3
純資産の部合計	368,763	64.3	397,871	66.1
負債及び純資産合計	573,637	100.0	601,474	100.0

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括損益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間 〔自平成24年4月1日 至平成24年9月30日〕		当第2四半期連結累計期間 〔自平成25年4月1日 至平成25年9月30日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比
		%		%
売 上 高	304,216	100.0	359,726	100.0
売 上 原 価	192,494	63.3	221,914	61.7
売 上 総 利 益	111,722	36.7	137,812	38.3
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	72,105	23.7	84,961	23.6
試 験 研 究 開 発 費	21,626	7.1	22,065	6.1
営 業 利 益	17,991	5.9	30,786	8.6
そ の 他 費 用 - 純 額 -	771	0.2	753	0.3
税 引 前 四 半 期 純 利 益	17,220	5.7	30,033	8.3
法 人 税 等	5,579	1.8	10,041	2.8
持 分 法 投 資 損 益 (△ 利 益)	△ 472	△ 0.1	△ 1,285	△ 0.4
非 支 配 持 分 控 除 前 四 半 期 純 利 益	12,113	4.0	21,277	5.9
非 支 配 持 分 帰 属 損 益 (△ 損 失)	△ 158	△ 0.0	103	0.0
当 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 利 益	12,271	4.0	21,174	5.9

(四半期連結包括損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
		金 額	金 額
非支配持分控除前 四半期純利益		12,113	21,277
その他の包括利益—税効果考慮後			
為替換算調整額		△ 9,259	9,237
退職年金債務調整額		503	690
売却可能有価証券未実現損益		△ 3,269	3,538
デリバティブ純損益		106	△ 114
その他の包括利益(△損失)計		△ 11,919	13,351
四半期包括利益(△損失)		194	34,628
(内訳)			
非支配持分に帰属する四半期包括利益(△損失)		△ 171	185
当社株主に帰属する四半期包括利益		365	34,443

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別		前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間	
			〔自平成24年4月1日 至平成24年9月30日〕	〔自平成24年4月1日 至平成24年9月30日〕	〔自平成25年4月1日 至平成25年9月30日〕	〔自平成25年4月1日 至平成25年9月30日〕
I 営業活動によるキャッシュ・フロー						
1. 非支配持分控除前四半期純利益				12,113		21,277
2. 営業活動によるキャッシュ・フローへの調整						
(1) 減価償却費			10,659		11,854	
(2) 固定資産除売却損(純額)			14		194	
(3) 投資有価証券売却益(純額)	△		334		△ 1,394	
(4) 投資有価証券の減損			579		0	
(5) 退職給付引当金	△		1,992		△ 2,334	
(6) 繰延税金			1,712		472	
(7) 持分法投資損益(△利益)	△		473		△ 1,285	
(8) 資産・負債の増減						
① 受取手形及び売掛金の減少			15,840		13,238	
② たな卸資産の増加	△		3,651		△ 12,018	
③ その他の資産の減少(△増加)			1,416		△ 734	
④ 支払手形及び買掛金・未払金の増加(△減少)	△		5,684		2,168	
⑤ 未払税金の増加			402		1,890	
⑥ 未払費用及びその他流動負債の増加(△減少)	△		1,890		151	
(9) その他(純額)	△		1,711		282	
営業活動によるキャッシュ・フロー				27,000		33,761
II 投資活動によるキャッシュ・フロー						
1. 投資有価証券の売却による収入				781		2,260
2. 投資有価証券の取得				—		△ 2,039
3. 資本的支出			△ 14,068		△ 13,575	
4. 施設借用保証金の減少(△増加)(純額)			159		△ 44	
5. 有形固定資産の売却による収入			685		354	
6. 事業の売却(現金流出額との純額)			90		—	
7. 非支配持分の買取			△ 10		—	
8. 関連会社に対する投資及び貸付金の減少(△増加)			△ 1,884		119	
9. その他(純額)			347		—	
投資活動によるキャッシュ・フロー				△ 13,900		△ 12,925
III 財務活動によるキャッシュ・フロー						
1. 短期債務の減少(純額)			△ 4,985		△ 5,421	
2. 親会社の支払配当金			△ 3,082		△ 5,063	
3. 非支配株主への支払配当金			△ 2		—	
4. 非支配株主からの資本取引による入金額			596		—	
5. その他(純額)			104		△ 280	
財務活動によるキャッシュ・フロー				△ 7,369		△ 10,764
IV 換算レート変動の影響				△ 1,489		1,162
現金及び現金同等物の増減額				4,242		11,234
期首現金及び現金同等物残高				45,257		55,708
四半期末現金及び現金同等物残高				49,499		66,942
営業活動によるキャッシュ・フローの追記						
1. 支払利息の支払額				123		130
2. 法人税等の支払額				3,470		7,082
キャッシュ・フローを伴わない投資及び財務活動の追記 資本的支出に関連する債務				625		482

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	I A B	EMC	A E C	S S B	H C B	その他	計	消去調整他	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	129,893	42,605	47,257	23,471	32,557	25,457	301,240	2,976	304,216
(2)セグメント間の内部売上高	2,864	21,932	110	1,824	39	8,559	35,328	△ 35,328	—
計	132,757	64,537	47,367	25,295	32,596	34,016	336,568	△ 32,352	304,216
営業費用	117,185	62,191	44,587	27,176	30,679	34,664	316,482	△ 30,257	286,225
営業利益(△損失)	15,572	2,346	2,780	△ 1,881	1,917	△ 648	20,086	△ 2,095	17,991

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

(単位:百万円)

	I A B	EMC	A E C	S S B	H C B	その他	計	消去調整他	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	138,018	48,782	59,468	29,112	42,838	38,460	356,678	3,048	359,726
(2)セグメント間の内部売上高	3,721	23,920	58	2,162	25	16,191	46,077	△ 46,077	—
計	141,739	72,702	59,526	31,274	42,863	54,651	402,755	△ 43,029	359,726
営業費用	123,905	68,767	55,178	33,036	38,471	48,873	368,230	△ 39,290	328,940
営業利益(△損失)	17,834	3,935	4,348	△ 1,762	4,392	5,778	34,525	△ 3,739	30,786

(注) 経営管理区分の見直しにより、平成26年3月期より、「EMC」傘下の一部を「I A B」の事業セグメントに含めて開示しています。
これに伴い、前第2四半期連結累計期間を新管理区分に組替えて表示しています。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	中華圏	東南アジア 他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	149,670	39,568	36,320	52,990	25,668	304,216	—	304,216
(2)セグメント間の内部売上高	61,902	972	509	33,075	8,153	104,611	△ 104,611	—
計	211,572	40,540	36,829	86,065	33,821	408,827	△ 104,611	304,216
営業費用	201,577	39,199	36,350	80,354	31,502	388,982	△ 102,757	286,225
営業利益(△損失)	9,995	1,341	479	5,711	2,319	19,845	△ 1,854	17,991

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	中華圏	東南アジア 他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	160,715	46,190	47,446	69,666	35,709	359,726	—	359,726
(2)セグメント間の内部売上高	82,853	1,334	797	45,426	10,610	141,020	△ 141,020	—
計	243,568	47,524	48,243	115,092	46,319	500,746	△ 141,020	359,726
営業費用	223,896	47,967	47,274	105,597	42,332	467,066	△ 138,126	328,940
営業利益(△損失)	19,672	△ 443	969	9,495	3,987	33,680	△ 2,894	30,786

(注) 日本以外の区分に属する主な国または地域
 (1) 米州……………米国・カナダ・ブラジル
 (2) 欧州……………オランダ・英国・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン
 (3) 中華圏……………中国・香港・台湾
 (4) 東南アジア他……………シンガポール・韓国・インド・豪州

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	米州	欧州	中華圏	東南アジア他	計
I 海外売上高	40,173	39,150	53,665	26,844	159,832
II 連結売上高					304,216
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.2	12.9	17.6	8.8	52.5

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(単位:百万円)

	米州	欧州	中華圏	東南アジア他	計
I 海外売上高	47,248	49,920	69,890	37,390	204,448
II 連結売上高					359,726
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.1	13.9	19.4	10.4	56.8

(注) 各区分に属する主な国または地域

- (1) 米州……………米国・カナダ・ブラジル
- (2) 欧州……………オランダ・英国・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン
- (3) 中華圏……………中国・香港・台湾
- (4) 東南アジア他……………シンガポール・韓国・インド・豪州

4. 補足情報

(1) 連結業績概要

		第2四半期累計			通期		
		平成25年3月期 第2四半期	平成26年3月期 第2四半期	前年同期比	平成25年3月期	平成26年3月期 予想	前期比
売上高	百万円	304,216	359,726	118.2%	650,461	750,000	115.3%
営業利益 (率)	百万円 (%)	17,991 (5.9%)	30,786 (8.6%)	171.1% (+2.7P)	45,343 (7.0%)	65,000 (8.7%)	143.4% (+1.7P)
税引前四半期(当期)純利益 (率)	百万円 (%)	17,220 (5.7%)	30,033 (8.3%)	174.4% (+2.6P)	41,237 (6.3%)	62,000 (8.3%)	150.4% (+2.0P)
当社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	百万円	12,271	21,174	172.6%	30,203	43,000	142.4%
1株当たり当社株主に 帰属する四半期(当期)純利益	円 銭	55円74銭	96円19銭	+40円45銭	137円20銭	195円34銭	+58円14銭
潜在株式調整後 1株当たり当社株主に 帰属する四半期(当期)純利益	円 銭	55円74銭	—	—	137円20銭	—	—
総資産	百万円	514,715	601,474	116.9%	573,637		
株主資本 (株主資本比率)	百万円 (%)	318,114 (61.8%)	395,885 (65.8%)	124.4% (+4.0P)	366,962 (64.0%)		
1株当たり株主資本	円 銭	1,445円11銭	1,798円48銭	+353円37銭	1,667円04銭		
営業活動による キャッシュ・フロー	百万円	27,000	33,761	+6,761	53,058		
投資活動による キャッシュ・フロー	百万円	△13,900	△12,925	+975	△28,471		
財務活動による キャッシュ・フロー	百万円	△7,369	△10,764	△3,395	△18,550		
現金及び現金同等物 四半期末(期末)残高	百万円	49,499	66,942	+17,443	55,708		

(注) 連結子会社数は154社、持分法適用関連会社数は10社です。

(2) 連結セグメント別売上高実績

(単位：億円)

		平成25年3月期 第2四半期累計	平成26年3月期 第2四半期累計	前年同期比
I A B	国 内	587	559	95.3%
	海 外	712	821	115.2%
	計	1,299	1,380	106.3%
E M C	国 内	134	143	106.7%
	海 外	292	345	118.0%
	計	426	488	114.5%
A E C	国 内	159	132	83.1%
	海 外	314	463	147.4%
	計	473	595	125.8%
S S B	国 内	234	290	124.2%
	海 外	1	1	82.8%
	計	235	291	124.0%
H C B	国 内	141	146	104.3%
	海 外	185	282	152.2%
	計	326	428	131.6%
その他	国 内	166	259	155.9%
	海 外	89	126	142.2%
	計	255	385	151.1%
消去調整他	国 内	23	24	104.3%
	海 外	5	6	136.6%
	計	28	30	107.1%
合 計	国 内	1,444	1,553	107.5%
	海 外	1,598	2,044	127.9%
	(海外比率)	(52.5%)	(56.8%)	(+4.3P)
	計	3,042	3,597	118.2%

(3) 連結セグメント別営業利益実績

(単位：億円)

	平成25年3月期 第2四半期累計	平成26年3月期 第2四半期累計	前年同期比
I A B	156	178	114.5%
E M C	23	39	167.7%
A E C	28	43	156.4%
S S B	△ 19	△ 18	—
H C B	19	44	229.1%
その他	△ 6	58	—
消去調整他	△ 21	△ 36	—
合計	180	308	171.1%

(注) 経営管理区分の見直しにより、平成26年3月期より、「EMC」傘下の一部を「IAB」の事業セグメントに含めて開示しています。これに伴い、平成25年3月期の営業利益を新管理区分に組替えて表示しています。

(4) 期中平均レート実績

(1外貨当たり 円)

	平成25年3月期 第2四半期累計	平成26年3月期 第2四半期累計	前年同期比
USD	79.4	98.2	+18.8
EUR	101.1	128.9	+27.8

(5) 連結セグメント別売上高予想

(単位：億円)

		平成25年3月期	平成26年3月期 予想	前期比
I A B	国 内	1,163	1,145	98.5%
	海 外	1,467	1,685	114.9%
	計	2,630	2,830	107.6%
E M C	国 内	267	285	106.9%
	海 外	574	695	121.0%
	計	841	980	116.5%
A E C	国 内	302	280	92.5%
	海 外	674	930	138.0%
	計	976	1,210	123.9%
S S B	国 内	685	820	119.8%
	海 外	3	10	327.9%
	計	688	830	120.7%
H C B	国 内	295	310	105.1%
	海 外	420	570	135.6%
	計	715	880	123.0%
その他	国 内	414	440	106.2%
	海 外	178	280	157.1%
	計	592	720	121.5%
消去調整他	国 内	54	40	74.8%
	海 外	9	10	115.5%
	計	63	50	79.4%
合 計	国 内	3,180	3,320	104.4%
	海 外	3,325	4,180	125.7%
	(海外比率)	(51.1%)	(55.7%)	(+4.6P)
	計	6,505	7,500	115.3%

(6) 連結セグメント別営業利益予想

(単位：億円)

	平成25年3月期	平成26年3月期 予想	前期比
I A B	313	370	118.0%
E M C	44	85	195.4%
A E C	50	85	169.7%
S S B	29	55	188.7%
H C B	44	75	170.2%
その他	25	70	277.1%
消去調整他	△ 52	△ 90	—
合計	453	650	143.4%

(注) 経営管理区分の見直しにより、平成26年3月期より、「EMC」傘下の一部を「IAB」の事業セグメントに含めて開示しています。これに伴い、平成25年3月期の営業利益を新管理区分に組替えて表示しています。

(7) 期中平均レート予想

(1外貨当たり 円)

	平成25年3月期	平成26年3月期 予想	前期比
USD	83.2	96.7	+ 13.5
EUR	107.6	129.4	+ 21.8